



牛久市消防団の消防車が新しくなりました

第12分団(下根)・22分団(井ノ岡)に消防車納車

牛久市消防団第12分団(下根)、第22分団(井ノ岡)の消防車が新しくなり、運用を前に3月24日、市役所で納車式を行いました。式では、根本牛久市長、牛久市消防団藤代副団長はじめ、各行政区の関係者が臨席し、各分団に新車が引き渡されました。これまでの消防車は平成5年度、平成6年度に配備されて以来、火災発生等の多くの災害に出動し、現場で威力を発揮してきました。引き続き、地域の皆さんとともに防火・防災の促進に活躍が期待されます。



食べてみて、牛久の大根

春大根出荷開始

4月11日、JA水郷つくば大根生産部会による春大根の目揃会が開催されました。同部会の会長増原進一さんは、「みずみずしくて甘い大根ができました」と話しました。この大根は、うしく河童大根として6月上旬まで出荷されます。また、今年2月には、同部会内の若いメンバー12人(団体含む)で結成された青年部が発足し、販売方法を工夫したり、Instagramでの情報発信など、PR活動に力を入れ、うしく河童大根の知名度アップとブランド力のさらなる向上を目指します。



市内の道路がもっと便利に！

国道6号牛久土浦バイパス 遠山町～城中町1.3km区間開通

3月26日、国道6号牛久土浦バイパスの牛久市遠山町～城中町での1.3km区間が開通しました。開通に先立ち、関係者出席のもと開通式典・セレモニーが行われました。セレモニーでは、テープカットとくす玉開披が執り行われ、閉式後には車両の通行が始まりました。このバイパスの開通、そして先に開通した市道23号線(城中・田宮線)により、牛久駅付近を迂回するルートが整い、既存の国道6号の渋滞・混雑の緩和が期待されます。



スポーツを通じた地域振興を目指して 牛久市と株式会社茨城県民球団とのフレンドリータウンに関する協定

4月6日、市は(株)茨城県民球団と「牛久市と株式会社茨城県民球団とのフレンドリータウンに関する協定」を締結しました。この協定は両者が相互に連携、協力することにより、スポーツを通じた地域振興をはじめ、青少年の健全な育成や市民の健康増進、観光振興等を実現することを目的としています。今後は同球団が運営するプロ野球チーム「茨城アストロプラネッツ」と連携し、市内イベント等を実施する予定です。また、締結式に併せて、市内小学校に入学する児童へ自由帳が寄贈されました。



詳しくは市ホームページへ▶

